

議案第94号関連資料
電力使用料等の高騰への対応について

これまで、高圧電力の一括調達等により、電気・ガス等エネルギー使用料の削減に努めてきました。しかし、コロナ禍及びウクライナ情勢の影響でエネルギー価格が著しく高騰し、高圧電力施設を中心に多くの施設で予算が大幅に不足することから、このたびの補正予算でまとめて計上するものです。

1 これまでの電力・ガス一括調達の経緯

(千円)

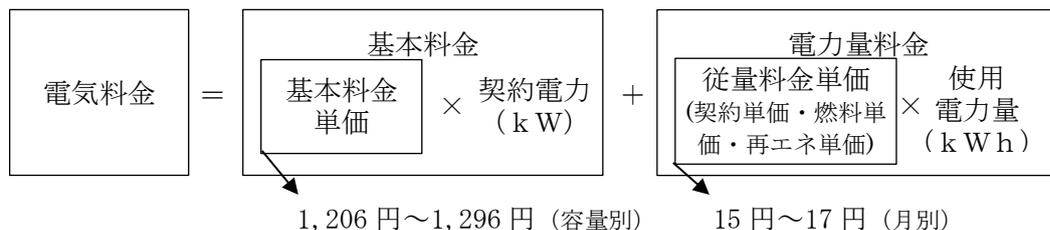
科目		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	合計
電気 (高圧)	施設数	4施設	84施設	84施設	91施設	92施設	95施設	
	契約者	サミットエナジー(株)	関西電力(株)	関西電力(株)	新エネルギー開発(株)	新エネルギー開発(株)	関西電力(株)	
	削減額	▲ 4,500	▲ 114,100	▲ 85,700	▲ 161,300	▲ 166,000	▲ 169,500	▲ 701,100
ガス	施設数			33施設	36施設	51施設	51施設	
	契約者			大阪ガス(株)	大阪ガス(株)	大阪ガス(株)	大阪ガス(株)	
	削減額			▲ 5,100	▲ 7,200	▲ 24,200	▲ 30,200	▲ 66,700
合計		▲ 4,500	▲ 114,100	▲ 90,800	▲ 168,500	▲ 190,200	▲ 199,700	▲ 767,800

2 直近の高圧電力調達に関する状況

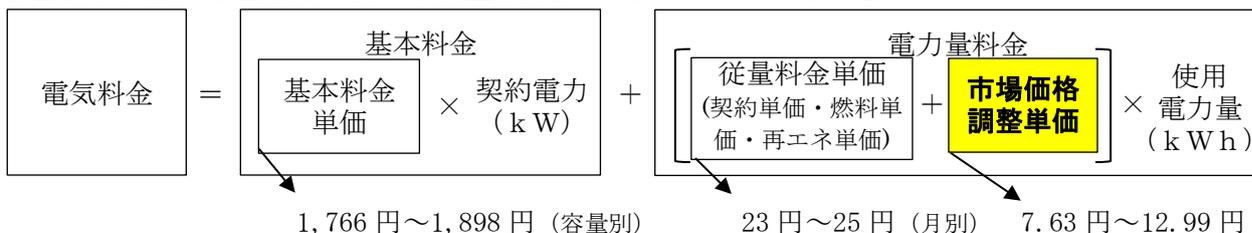
2021年7月	2021年度高圧電力一括調達競争入札（3者応札） （契約期間：2021年10月～2022年9月） 関西電力(株)通常料金メニュー（法人）より約3割の減
2021年10月 2022年2月	コロナ禍の影響で原油価格値上がり ウクライナ情勢による天然ガス価格値上がり
2022年3月 ～5月	関西電力(株)及び新電力事業者と協議（2022年度入札の周知） 関西電力(株)通常料金メニュー（法人）の新規受付停止（4月）
2022年6月	2022年度高圧電力一括調達競争入札（応札者なし）
2022年8月 ～9月	関西電力(株)の新料金メニュー（卸連動制料金）の発表 関西電力(株)の新料金メニュー（卸連動制料金）へ申込み
2022年10月	関西電力(株)の新料金メニュー（卸連動制料金）による高圧電力供給開始 関西電力(株)通常料金メニュー（法人）より約6割の増

3 高圧電力料金体系変更のイメージ

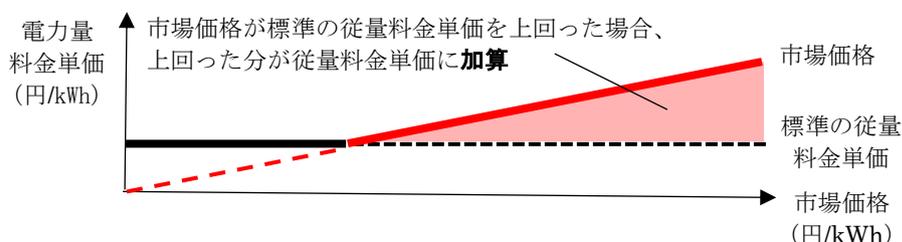
【これまでの入札による料金体系】（契約相手方：関西電力株）



【電力卸市場価格連動制の新たな料金体系】（契約相手方：関西電力株）



【市場価格調整単価のイメージ】



4 12月補正予算について

2及び3の高圧電力料金の高騰のほか、低圧電力、都市ガス及びガソリンに関しても料金が高騰していることから、以下のとおり補正予算を計上するものです。

（千円）

項目	対象施設	金額
高圧電力使用料	本庁舎、小中学校、指定管理施設等 95 施設	280,000
低圧電力等使用料	保育園、幼稚園、コミセン等 151 施設	30,000
ガス使用料	本庁舎、小中学校、給食センター等 110 施設	100,000
ガソリン使用料	市役所、クリーンセンター、消防本部等	12,000
12 補正予算計上額		422,000

※企業会計は別途計上

5 今後の予定について

引き続きエネルギー市場の状況を注視し、一般競争入札等を行う状況が確認でき次第実施し、光熱費削減の取り組みを進めます。